

祈りのきずな 8月

マラキ書3章～マルコ2章

太田教会（群馬） 牧師 杉山 望（すぎやま のぞむ）

1日(土)マラキ書3章13～18節

他者を^{しいた}虐げる高慢な者たちが何の罰も受けず、この世の富と権力を独占している姿を見せられると、主の戒めを守ることがむなしく感じるかもしれません。しかし主を^{おそ}畏れ敬う^{うやま}人びとが語り合う声に、主は耳を傾けてくださり、主が備えつつある日には、主の宝となることを約束してくださっています。

松本福音村教会と^{フアンキヨシ}黄基英牧師（長野・松本市）

2日(日)マタイによる福音書1章18～21節

「正しい人」であったヨセフはマリアへの怒りを飲み込んで、ひそかに離縁することで決着をつけようとしてしました。しかし主はヨセフの正しさの枠を飛び越えて、マリアを迎え入れるように命じました。非常識で正しくないことのように見えても、見捨てられた人と共にいる選択の先に、主のみ業が起こります。

相模原希望伝道所と^{イジエホ}李在浩牧師（神奈川・相模原市中央区）

3日(月)マタイによる福音書2章13～15節

ヘロデ王に命を^{ねら}狙われたため、^{のが}幼子であったイエスさまは、両親と共に難民となってエジプトへ逃れました。日本は難民をほとんど受け入れていませんが、もしエジプトが難民を受け入れなければ、イエスさまの物語はここで終わっていました。神さまは寄留者を愛し、受け入れることを求めています。

大和愛宣教伝道所と^{カクシツ}李東柱牧師、郭淑主事（神奈川・大和市）

4日(火)マタイによる福音書3章7～12節

バプテスマのヨハネは人びとが良い実を結ぶように悔い改めへと導きました。一方、現在の人間活動はプラネタリー・バウンダリー(地球の限界)を越えており、人類の安全な生存が脅かされる危険領域に入っています。私たちにあって、「悔い改めにふさわしい実を結ぶ」ことはどのようなことでしょうか。

松本蟻ヶ崎教会と齊藤弘司こうじ牧師、陳百合チェンバイホ協力宣教師(長野・松本市)

5日(水)マタイによる福音書4章8～10節

資本主義社会の発展には、他者からの搾取と収奪さくしゆや、資源や生態系の消費が不可欠でした。数えきれない犠牲を出しながら、力ある者たちはなおサタンを拝み、無限の成長を追い求めています。しかしイエスさまは誘惑を退けました。「主を拝み、ただ主に仕えよ」とのみ言葉は、今こそ必要とされています。

大秦野教会と日高龍子りかう牧師、日高嘉彦よしひこ協力牧師(神奈川・秦野市)

6日(木)マタイによる福音書5章3～10節

イエスさまの時代のパレスチナにも、一握りの支配者に搾取され、飢え渴き、家族を失い、病を負い、命を奪われる人びとが大勢いました。そのような人びとに<幸い>を告げたイエスさまは、この世の序列をひっくり返します。神さまは不正義に対して黙しておらず、正義と平和を求めておられます。

ふじみ教会と犬塚契くさ牧師、市川牧人牧師(ユース)、犬塚修・草島豊各協力牧師(神奈川・平塚市)

7日(金)マタイによる福音書6章24節

資本主義社会は農民を土地から追い出し、森林や川を囲い込んで私有化することによって始まりました。今ではもっと多くの物が私有化されていますが、この世のすべては神さまのものであり、他者や他の被造物と分かち合って生きることが本来のあり方です。富への服従と神さまへの信仰は両立できません。

綾瀬小園教会と岩瀬礼あや牧師(神奈川・綾瀬市)

8日(土)マタイによる福音書7章15～20節

神さまによって造られた地球環境が急激に破壊されており、過去50年で野生生物の3分の2以上が減少し、毎年約4万種の生物が絶滅していると言われています。「産めよ、増えよ、満ちよ」という神さまの祝福を台なしにすることは「悪い実」なのではないでしょうか。良い木と悪い木を見分けましょう。

相模中央教会と吉田真司牧師、江原美歌子音楽・子どもユース担当主事、斎藤剛毅協力牧師（神奈川・大和市）

9日(日)マタイによる福音書8章23～27節

私たちも今、激しい嵐の中にいるのかもしれませんが。どうすればいいのかわからずに、うろたえるだけの私たちと同じ舟にイエスさまが乗っておられます。強風にあおられ、波しぶきを浴びながら、イエスさまは荒れ狂う波に立ち向かい、向こう岸へと導いてくださいます。信頼すべきはこの方です。

座間伝道所と内藤玲緒奈牧師（神奈川・座間市）

10日(月)マタイによる福音書9章9～13節

徴税人たちを「罪人」と呼び、社会の周辺に追いやったファリサイ派の人びとは、権力者の不正義や社会構造の悪に対しては沈黙していました。それは不公平な社会体制を維持することにつながりました。イエスさまは追いやられた罪人を招き、罪人の友となりました。神さまのみ心はここに現れています。

平塚教会と平野健治牧師（神奈川・平塚市）

11日(火)マタイによる福音書10章40～42節

イエスさまは12人の弟子たちを派遣しました。神の言葉を伝え、汚れた霊を追出し、病気を癒す弟子たちも小さな者です。そんな弟子たちのために冷たい水一杯を飲ませてくれる人は、弟子たちと同じ報いを受けます。伝える人も、支える人も、共に働く宣教者であり、共に福音にあずかります。

逗子第一教会と小平公憲牧師（神奈川・逗子市）

12日(水)マタイによる福音書11章25～30節

「**知恵ある者や賢い者**」だけが成功して、力と富を独占しています。しかしイエスさまは、幼子のように特別な知識も技能もない人びとに福音を伝えました。成功ばかり求められれば、それは重荷となりますが、イエスさまはその重荷を降ろさせ、私たちを休ませてくださいます。イエスさまから学びましょう。

湘南台教会と西野修平牧師（神奈川・藤沢市）

13日(木)マタイによる福音書12章9～14節

神さまが定めた律法は、人間を解放し、生命を回復することに向けられています。しかしこの世では、人びとを抑圧し、生命を脅かす法律さえ作られています。この世の法によって虐げられる人は、社会の中で取るに足らない者と見做されますが、イエスさまは法に背き、人間にとって良いことを選ばれます。

藤沢教会と伊藤真嗣牧師（神奈川・藤沢市）

14日(金)マタイによる福音書13章3～9節

誰でもみ言葉を悟ることができないときがあります。イエスさまの話を通じて聞いた当時の人たちがさえもそうでした。理解できる時もありますが、すぐには悟ることができず、聞けないことの方が多いかもしれません。そんな私たちの頑なさにもかかわらず、イエスさまは私たちに語り続けてくださいます。

横須賀長沢教会と根塚幸雄牧師（神奈川・横須賀市）

15日(土)マタイによる福音書14章13～21節

すべての人が十分に食べられるだけの食料は生産されていますが、6億7千万人以上が飢餓に直面しています。5つのパンと2匹の魚を有り余るほどに増やしたイエスさまは、それを無償で分け与えました。経済的な繁栄は神さまの祝福とは限りません。大切なことは与えられた恵みを分かち合うことです。

港南めぐみ教会と古家克務牧師、古家良子協力牧師（神奈川・横浜市港南区）

16日(日)マタイによる福音書15章21～28節

カナンの女性に対するイエスさまの言葉にはショックを受けます。ただこのようなことは、「日本人ファースト」を主張する政党が躍進し、排外主義が強まっている日本も他人ごとではありません。イエスさまは心を変えて彼女の願いに応えました。私たちは共生社会の実現へと向きを変えられるでしょうか。

洋光台教会と萩原永子^{のりこ}牧師（神奈川・横浜市磯子区）

17日(月)マタイによる福音書16章24～28節

2020年ごろに地球上の人工物の総重量は全生物の総重量を上回りました。人間はまるで全世界を手に入れたかのようにあらゆる物を利用してきましたが、人間の命はむしろ脅かされています。自分を捨て、十字架の道を歩まれたイエスさまに従うことが、私たちや将来の人びとの命を救うために必要です。

横浜戸塚教会と堀野浩嗣^{ひろつぐ}牧師、内田泰亮^{たいすけ}協力牧師、杉野省治^{しげはる}対外宣教協力牧師（神奈川・横浜市戸塚区）

18日(火)マタイによる福音書17章14～20節

国連は「持続可能な開発目標（SDGs）」について、順調に進んでいるのはわずか18%で、3分の1は停滞か後退しているという厳しい現状を報告しました（2025年）。支配者たちがイエスさまに従っていれば、それは不可能な目標ではありません。「**なんと信仰のない、よこしまな時代なのか**」とは今の時代のことです。

横浜大和町教会（神奈川・横浜市中区）

19日(水)マタイによる福音書18章1～5節

神の国でいちばん偉いのは、最強の軍事力によって他国を侵略する大統領でも、他者を踏みにじって個人資産を130兆円まで増やした大富豪でもありません。心を入れ替えて自分を低くする人こそが神の国ではいちばん偉く、力も富も奪われ小さくされた人を受け入れる人がイエスさまの弟子なのです。

日野神明伝道所と林大仁^{はやしひろひと}主任牧師（東京・日野市）

20日(木)マタイによる福音書19章13～15節

当時のガリラヤでは子どもの死亡率が高く、10歳まで生きられるのは半数ほどしかいませんでした。現在のパレスチナでは2年半の間に2万人以上の子どもが殺害され、4万人以上が負傷しました。このような残酷な状況に追いやられた子どもたちを締め出すならば、そこに神の国は実現しないでしょう。

青葉教会と三宅真嗣^{しんじ}牧師、三宅友子^{ともこ}副牧師（神奈川・横浜市青葉区）

21日(金)マタイによる福音書20章1～16節

三重の税金によって土地も家族も仕事も失った農民は、その日を生きながらえるための日雇いの仕事を求めて広場に立っていました。暑い中、何度も広場まで足を運んで追い詰められた人びとを迎え入れ、その誰もが生きられるように気前よく恵みを分かち合った主人。神さまはその主人のようなお方です。

横浜 JOY 教会と山中臨^{ともなり}在^{たけし}牧師、澤田 猛^{まさみ} 教育牧師、石田政美派遣牧師（神奈川・横浜市旭区）

22日(土)マタイによる福音書21章12～13節

イエスさまの言葉はイザヤ書56章7節とエレミヤ書7章11節からの引用です。エレミヤは、「**盗み、殺し、姦淫し、偽って誓い、バアルに香をたき**」ながら、神殿に来て「**救われた**」とのたまう人びとを批判しました（エレミヤ7・9～10）。上位1%が富の31.7%を独占する現在の世界も「**強盗の巣**」であり、正義の実行が必要です。

横浜ニューライフ教会と田坂元彦^{もとひこ}・結城勝吾^{しょうご}各牧師（神奈川・横浜市都筑区）

23日(日)マタイによる福音書22章15～22節

地中海沿岸全域を支配したローマ帝国において、皇帝は絶対的な存在でした。しかしイエスさまが「**皇帝のもの**」として示したのは、皇帝の肖像と銘が刻まれた銀貨だけです。一方、世界のすべては「**主のもの**」です（詩編24・1）。巨大な力を持った人物であっても、好き勝手にしていい物はありません。

百合丘教会と川井信雄牧師、氷川英俊協力牧師、宮原淑子^{よしこ}音楽主事代理（神奈川・川崎市麻生区）

24日(月)マタイによる福音書23章37～39節

イスラエルは何度も主の道から離れました。悔い改めて主に立ち帰るように呼びかける預言者たちが遣わされましたが、イスラエルは警告を受け入れず、預言者たちを殺したために、見捨てられ、荒れ果てました。今の世界も主の道から離れていないでしょうか。警告を受け入れて主に立ち帰ることが必要です。

川崎教会と松藤^{いさく}一牧師（神奈川・川崎市中原区）

25日(火)マタイによる福音書24章 3～14節

アメリカでは「いまは終末の時代に当たる」と考えている人が4割近くいるようです。戦争が続き、社会が混乱すると、世も末だと思いがちです。しかしイエスさまは、終わりが来るのは福音が全世界に宣べ伝えられてからだと言っています。人間の過ちによってもたらされるのは終末ではなく、破滅です。

多摩川教会と末盛^{すえみ}桜子^{さくらこ}牧師、永井愛実^{まなみ}音楽主事（東京・狛江市）

26日(水)マタイによる福音書25章31～40節

今、この世界の中で、飢えている人、渴いている人、寝る場所がない人、病気の人、囚われている人はどこにいますでしょうか。社会の周辺に追いやられ、ヘイトスピーチの標的にされる人びとも、神のきょうだいであり、その人びとと共に生きようとした人びとが神の国を受け継ぐように招かれています。

経堂^{きやどう}教会と藤原靖彦^{かしわぎ}牧師、柏^{かしわぎ}雅之教会教育担当牧師（東京・世田谷区）

27日(木)マタイによる福音書26章26～30節

主の晚餐式の起源となったパンとぶどう酒を分け与える行為を、イエスさまはユダの裏切り予告の後に行い、またその直後に弟子たちのつまずきを予告されました。十字架で流されたイエスさまの血は、裏切り、つまずく私たちのために流され、それでもなお私たちを契約から除外しないという約束でした。

インドネシア伝道と野口日宇満^{のぐちひさみ}宣教師のために

28日(金)マタイによる福音書27章37～44節

祭司長たちによる侮辱は、まさにイエスさまがどのような方であったのかということを証言しています。「**他人は救ったのに、自分は救えない**」。それが神の子です。力ある者ほど他人は救わないのに自分のことは何としても救おうとするこの世の中で、イエスさまは人間の歩むべき道を指し示しています。

国際ミッション・ボランティアのために（佐々木和之氏・ルワンダ）

29日(土)マタイによる福音書28章16～20節

重点は、キリスト教に改宗させることよりも、イエスさまに倣^{なら}った生き方を教えることにあります。イエスさまに倣^{なら}って生きる人が増えていくな^ら、分断と対立が深まり、被造世界の破壊が続くこの世界も、神・人・被造物との和解に向きを変えることができるかもしれません。イエスさまはその道を歩まれます。

シンガポール国際日本語教会（IJCS）のために

30日(日)マルコによる福音書 1 章16～20節

シモンたちは「**わたしについて来なさい**」というイエスさまの招きに応え、自分の生き方を変えました。激動の時代の中で、私たちは否応なしに変化に見舞われます。これまでのものにこだわり、しがみつくのではなく、イエスさまの招きに耳を傾け、これまでとは違った道に勇気をもって歩み出しましょう。

アジアバプテスト女性連合（ABWU）のために

31日(月)マルコによる福音書 2 章13～17節

取税人^{かしら}の頭とは違って、その配下の取税人は経済的に困窮して^{にな}いました。取税人が生き残るために担った徴税は人びとを苦しめたために、取税人は裏切り者と見做^{みな}されていました。イエスさまはそのような取税人の友となりました。問われるべきなのは、取税人を利用して人びとから搾取る権力者たちです。

EIWAN（福島移住女性支援ネットワーク）のために